

## 新たな地域資源としての活用に向けて

■猪・鹿肉有効活用研究開発補助金  
【農林水産業費】(継続) 100万円  
(農林水産部 農村調整課)

猪、鹿など有害鳥獣の捕獲頭数が増える中、その処理に苦慮しています。捕獲した猪、鹿の肉などを有効活用し、地域の活性化に結びつけることを目的に、活用方法、流通販売・供給システムなどの調査研究を行います。



猪肉からつくられたハム

## 3 漁業・海業(うみぎょう)の振興 海業推進に取り組みます

■共同利用施設設置事業補助金  
【農林水産業費】(新規) 143万円  
(農林水産部 海業水産課)

カキ養殖により発生するカキ殻を、土壌改良資材として農地などで有効利用するため、粉碎機などの購入を行う漁業協同組合に対し、購入費用の一部を助成します。

カキ殻には、酸性土壌を中性に近づける効果があるため、細かく粉碎し幅広く活用することができます。



花の生育用として活用したカキ殻

■蒲井海岸海流調査事業  
【農林水産業費】(新規) 185万円  
(農林水産部 海業水産課)

久美浜町蒲井・旭地域の振興を目的に、浸食が懸念される蒲井海岸の海流調査を実施します。深浅(しんせん)測量により、蒲井漁港内を2か年にわたり調査することとしています。(平成20年度～平成21年度)



海流調査を実施する蒲井海岸

■クロアワビ養殖事業  
【農林水産業費】(継続) 198万円  
(農林水産部 海業水産課)

久美浜町蒲井・旭地域の振興を目的に、昨年度から旭漁港内でクロアワビの陸上試験養殖を実施しています。平成22年度からの本養殖をめざし、アワビ陸上養殖研究会が中心となり、約60ミリの稚貝を1年をかけて80ミリ程度まで成長させます。(平成19年度～平成21年度)

※試験養殖で成長したアワビは、湊漁業協同組合を通じて販売する予定です。



試験養殖中のアワビ稚貝

## 4 商工業の振興 丹後ちりめんをアピールします

■丹後ファッションウィーク開催委員会補助金  
【商工費】(継続) 800万円  
(商工観光部 丹後の魅力総合振興課)

丹後ちりめん代表される丹後織物の全国へのPRや、産学官連携事業並びに販路開拓事業など、多角的な展開に向けた取り組みを行う丹後ファッションウィーク開催委員会を支援します。



昨年実施された東京青山スライラールでの展示会

## 地域経済再生・支援緊急対策

■織物業経営革新等推進事業補助金  
【商工費】(継続) 1,600万円  
(商工観光部 丹後の魅力総合振興課)

織物業者の構造改革および意識改革を促進し、織物製造産業の再生による地域経済の活性化や雇用の安定を図るため、織物業者が実施する新商品開発・新販路開拓・グループ化・企業合併・異業種転換費用の一部を支援します。(補助率2分の1、上限200万円)

※地域経済再生・支援緊急対策事業として実施します。



織物業経営革新事業相談会

## 職員全員営業マン 企業を誘致し雇用促進へ

■企業誘致雇用創生促進経費  
【商工費】(新規) 87万円  
(商工観光部 商工振興課)

企業誘致を推進するため、全職員が企業情報を収集し、企業へのアプローチやPR活動を積極的に行います。

また、企業の立地希望にすぐに対応できるように、市内全域の企業立地用地マップを作成し、市内外からの企業誘致・企業立地を積極的に推進していきます。



経済産業省「企業立地に頑張る市町村二十選」に選定されました

## 新たな雇用を創出します

■工業用地造成事業  
【特別会計】(継続) 10億3,500万円  
(商工観光部 商工振興課)

大宮町森本地内に平成21年春の完成をめざし、開発区域面積15ヘクタール、工場用地8ヘクタールの規模の工業団地を造成しています。企業立地について、昨年度、第1次の意向調査を実施したところ、市内外から3社の立地希望の申し出がありました。

この工業団地で新しい工場が操業開始となると、全体で500人程度の従業員数となる見込みとなっており、新たな雇用創出も見込まれます。



工業用地造成中の大宮町森本

## 起業アイデアを募り新たなビジネスの創造を

■起業アイデアコンペ開催経費  
【商工費】(継続) 179万円  
(商工観光部 商工振興課)

京都工芸繊維大学と本市との連携・協力により、市固有の地域資源(自然、文化、歴史など)と、学生による新鮮な「知」と「発想」を融合させた起業アイデアコンペを開催し、新たなビジネスを創造していくことをめざします。



起業アイデアコンペ最終審査会

## 産学連携に取り組みます

■産学連携推進コーディネーター経費  
【商工費】(継続) 32万円  
(商工観光部 商工振興課)

産学連携の可能性を市民のみなさんと一緒に検討するため、大学の持つさまざまなシーズを紹介する「産学連携フォーラム」を昨年度に引き続き開催します。

また、都市部在住の学生による産業調査活動や知的資産経営インターンシップを支援し、本市の商工業活性化策や事業成長策についての提案や提言を受けたり、京都工芸繊維大学と連携し「事業経営・技術相談会」を開催するなど、産学連携へ向けたコーディネーターを実施します。

### 大学の持つシーズ

技術、経営ノウハウ、デザインなど事業に役立てることが可能な種(たね)のこと



産学公連携・交流フォーラム

## 丹後の機械金属産業のさらなる振興

■機械金属産業総合振興事業費補助金  
【商工費】(継続) 185万円  
(商工観光部 商工振興課)

京丹後市の機械金属業界が新分野や成長産業分野へ進出するため、丹後機械工業協同組合のすぐれた技術力を「丹後ハイテクランド」として、首都圏や京阪神地域などで開催される広域展示交流会へ出展するなど、全国へ向けたPR事業を支援します。



昨年度テクノメッセ東大阪で開催された展示会